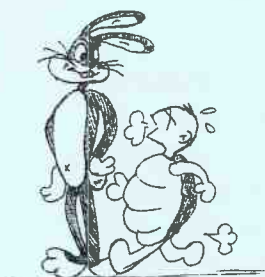


東京マラソン快？走録



マラソン選手が「沿道の皆さんの声援で頑張れた。」とよく答えています。実は、それ本当です。

東京は、その声援がほとんど途切れる事なく続きます。沿道からの声援ならどの大会でもあると思うでしょうが、間断なく、カメさんランナーにも等しく続く感じはまさに走ったものだけが味わえるものです。

「俺も申し込んだけど駄目だった！悔しいけど、でも頑張れ！」今年の個人一押し声援です。給水以外にバナナなどが提供されます。これも別に他の大会でも供され、ポルドーマラソンなど仏料理のコースが出る所もあります。でも非公式に住民の方から供されるものが良いのです。築地近くで磯の香り漂う味噌汁が出され、体も心も暖まったことがありました。走る人の事考えて出されてる感、半端ない。

お・も・て・な・し

東京は各々の走力に応じ様々楽しめます。世界クラスとの競り合い、趣向凝らした仮装ランナー、今年はランナーポリスを発見する楽しみや、外国人ランナーの記念撮影大会にも遭遇できました。幸運にも2度目の参加でしたが、今回は途中棄権となり快走録に？がついてしまいました。会場へ戻るバスの行程も初めての経験でした。

制限時間は少し頑張らないと厳しい大会ですが、ご縁あれば一緒に走りたいと想い寄稿させていただきました。

(小池・安藝昌信)

地域のイベント情報

- 7/11 社会を明るくする運動 雪谷地区住民集会
- 7/18 洗足池ホタル観賞会
- 7/24～26 第52回調布地区少年野球大会
- 7/26 小池公園観覧会(生き物調べ)
- 8/15 花火の祭典(西六郷四丁目地先 多摩川河川敷)
- 8/22～23 「雪谷青少対」子ども夏のつどい
- 9/5 「雪谷青少対」雪中生と遊ぼう
- 9/27 小池公園観覧会(植物観察)

詳しくは出張所までお問い合わせよろしくお願いします。

雪谷特別出張所 TEL 3729-5117

職員の異動について

4月1日付で、雪谷特別出張所職員の異動がありました。

佐藤政喜住民サービス担当係長、田中侑子が他所へ異動いたしました。新たに町田智司住民サービス担当係長、片平あゆ実、森屋凌が赴任いたしました。どうぞよろしくお願いいたします。

「大田区老人クラブ連合会」から 「大田区シニアクラブ連合会」へ

この4月から、見出しのように名称が変わりました。それに伴って区内157の地域シニアクラブが18特別出張所別に編成替えされました。「さわやかサポート上池台」など『行政が縦軸なら横軸が地域自治会に』とご理解ください。来るべき巨大な高齢者世代をタテヨコ一体となって乗り切っていくという、壮大なプランの第一歩なのです。

こんな近未来と地域高齢福祉の充実・強化を見据えて—

- 1.入会を躊躇する古いイメージからの脱却をはかる。
- 2.激増するシニア層への地域の受け皿・窓口を拡大、会員増をはかる。
- 3.地域自治会のもと一体となって有効な対応をはかる。
- 4.活力ある集団として社会と地域に貢献、時代の牽引者たる存在を目指す。

このコンセプトのもと、名実ともにイノベーションに舵が切られた次第です。因みに『雪谷地域シニア会』6クラブはこんな具合になっております。

〔所属自治会〕

- ・南雪谷
- ・池の台
- ・笹丸、東中、東雪
- ・希望ヶ丘
- ・小 池
- ・上池上

〔クラブ名〕

- 南雪会
- 池の台シニアクラブ
- 雪谷福德クラブ
- 希望ヶ丘ときわ会
- 小池シニアくらぶ
- 上池上ときわクラブ

皆様のより一層のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。私たちも頑張ります。

(雪谷地域シニア会会長 沼本光史)

※平成27年4月1日現在での雪谷地域の65歳以上人口は、男性5,037人、女性6,901人、合計11,938人です。

編 集 後 記

「ふれあい雪谷」第99号も、数多くの方々の執筆、寄稿を頂きまして、多彩な内容となりました。情報をくださる方、それを受け取ってくださる方に、常々感謝しております。

立夏(今年は5月6日)から秋分(9月23日)の前日までが暦の上での夏ですが、今年は5月中に最高気温が25℃以上の夏日が、20日間を超えました。暑い夏が予想されますが、熱中症などに気をつけながら素晴らしい夏にしたいものです。

次号は100号という節目の記念号となります。

(上池上・田上潤一)

ふれあい雪谷(創刊・平成2年(1990)12月20日) 年4回発行
(1月・新年号/4月・さくら号/7月・あさがお号/10月・もみじ号/の1日発行)
[発行日] 平成27年(2015年)あさがお号 7月1日(通巻・第99号)発行
[発行] 地域力推進雪谷地区委員会【編集】「ふれあい雪谷」編集委員会
[連絡先] 雪谷特別出張所
〒145-0065 大田区東雪谷3-6-2 電話3729-5117 FAX3729-1826

ふれあい 雪谷

平成27年7月 あさがお号 通巻第99号

雪谷特別出張所管内(平成27年4月1日現在)

世帯数/29,577世帯(対前年比 741世帯増) 総人口/60,985人
男/29,562人(対前年比576人増)・女/31,423人(対前年比519人増)



4月29日に雪ヶ谷八幡神社で行われた「一心泣き相撲」の様子

写真提供 南雪谷・村山田作

ラジオ体操

小池小学校在学中の夏休みは、ほぼ毎日ラジオ体操に参加した記憶があります。特に夏休みの始まりは、寝坊をしてはいけない思いが強かったのか、4時過ぎには起きて、行く準備をしていました。台の上で体操をしてくれるおじさん(大人になって同級生のお父さんである事を知った)に習い覚えていきました。中学生から30才過ぎまでラジオ体操から、離れてしまいました。長男が小学校に入学した頃、勤めに出る前に行くようになり、そして平成4年PTA会長を仰せ付けられ、ラジオ体操は会長が仕切るとの事で改めて向き合いました。講習会にも行き、毎朝寝坊せず3年間の責務を果たしました。平成8年からは、大田区体育指導委員(現スポーツ推進委員)としても、体操に関わり、大田区で普及している大田っ子体操も交えて、小池小学校のラジオ体操に取り組んできました。年を経て少し変わったようにも感じますが、テレビなどを見て自分のやり方と違うところを直したりしています。しかし基本は小学生の頃のやり方です。大人の方々や子どもたちに教える時もあります。折々の場で少し変えて取り組んだりもしています。

1年を通して取り組んでいる会場もありますが私にとっては、小池小学校の夏が自分の場と思っています。無事終える事が出来るよう、気負わず参加していこうと考えています。

(池の台・月居利久)



つながりのある町内っていいなあ！

縁もゆかりもないこの町に来て5年たちました。雪谷石川台自治会との初めての出会いは、町内の「クリーン大田清掃活動」への参加がきっかけでした。お掃除をしてお弁当も頂けるならと気楽な気持ちでしたが、新参者にとっては、とても良い機会になりました。町内の方が声をかけて下さったこともあり、その後も行事に顔を出すようになりましたが、なかでも驚いたことは7月の盆踊りです。

事前には踊りの練習もありました、当日は暗くなると道路いっぱいの人！！恒例の模擬店では、洗足池小学校のお母さん達や石川台中学校の生徒さん達が、自治会の青少年部や女性班(元、婦人部)又年輩の方々と一緒に大いに盛り上げていました。私は初めてのお手伝いで分からないことも有りましたが、盛り上がっている皆さんと一緒にいると私の心もウキウキと踊り、自然と顔馴染みになって、仲間に入れて頂いた感じがしました。

長年住んでいた所では、回覧板を廻す位で味わえないことでした。今では、町内でふれあえた方達との、道端や買い物などで出会った時の何気ない挨拶一つにも心地よさを感じています。小さな出会いを大切にしつつ、昔話を聞いたり周辺を散策したりと楽しみながら、これからもいいところをたくさんみつけ、この町で暮らしていきたいと思います。

(雪谷石川台・矢島幸子)

私の昭和の思い出 戦車の操縦訓練をしました

この雪谷地区は田んぼや畑が多く、道も池雪小学校のプール脇の花坂坂(はなぬきざか)の道路が中原街道まで続いて当時のメイン道路でした。

昭和初期に5年がかりで耕地整理が行われ現在のようにになりました。そのころ腸チフスが流行っていて荏原病院は昭和9年に伝染病院として世田谷から移って来ましたが、住民は伝染病院が来ると言うので白装束で反対運動をしました。

太平洋戦争が始まり、昭和20年の4月14～15日・5月24～25日夜にかけ空襲で大森・蒲田地区が全滅し、ここ雪谷地区にも焼夷弾が落ちてきて、家が焼けたところもたくさんありました。私の家も焼けそうになりましたが幸いにも父と妹が消し止めました。

私は20歳の時、5月13日に千葉の稲毛に入営し戦車部隊に配属され、本土決戦に備えて6人乗り三菱戦車の操縦士の訓練を受けましたが、一度も戦場に出向くこともなく、8月15日の終戦までのわずか3か月間のことでした。戦争のために戦車の操縦という得難い体験をしました。70年以上前の昭和の思い出です。

(東雪・田中茂雄／大正14年生まれ、聞き手・西本頼雄)

花々の咲く「昂兒童公園」 —雪谷特別出張所管内公園散歩 その①—

この公園は雪谷特別出張所前のバス通りを中原街道方面に300m程歩くと左手(東雪が谷3-35)にあります。

間口20mの入り口で見上げると左にはシュロ、右にシイノキが迎えてくれます。目線を下げると、本紙がお手元に届く頃、公園の中程に大きな鉢があり、その周りに紫や橙、桃と3色の可憐なタピアンがびっしりと咲き、さながら花の絨毯です。

その奥の花壇には様々な花が咲いています。春先の、花壇の柵を縁取る細長い一条のくっきりと咲く白いパンジー、愛くるしいチューリップに始まり、5月には20株程の豪華なボタンとあでやかなシャクヤクが咲きほこります。また、オルレア、ガウラリンドハイメリ、オルラヤホワトレースなどの清楚な白い花の花形が印象的です。そして、その間にあしらわれた濃淡ある紫の花々、白との絶妙なコントラストです。一年草あり、宿根草あり、球根ありです。

花木では、紅梅と白梅とキンモクセイが植樹され、春と秋には芳しいあまい薫りを楽しむことができます。初夏の白いアジサイも清々しいです。樹木はメグスリノキやイヌマキなどなど20種類以上が、花々を護るかのように植えられています。

公園は平成4年2月に大田区が設置、広さ503㎡です。1000㎡に満たないので「公園」ではなく「兒童公園」です。やがて「ふれあいパーク活動・昂会」が立ち上がり、現在は三田和之会長さんはじめ6名の方々が苗植え、草取り、清掃などの世話をボランティアでなさっております。方々には感謝感謝です。なお樹木の剪定とトイレ清掃は区役所が行います。

四季折々に訪れたい公園です。入り口に近い藤棚下の椅子に座って眺めるもよし、タピアンをよけながら花壇に近寄り数々の色の花をいとおしむのもよしです。

5月の賑わい



〈情報提供 大田区調布まちなみ維持課、昂会の方々〉

(東中・秋山一雄)

ごみ出しのルールを守りましょう

資源・可燃ごみ・不燃ごみは収集日当日、朝8時までに正しく分別して集積所に出してください。収集日以外の日や夜間に出すことはご遠慮ください。

10月1日国勢調査が実施されます ～地域の方が調査員として依頼にまわります～

国勢調査は、我が国の人口や世帯の実態を明らかにする国の最も基本的な統計調査として、大正9年(1920)以来5年(西暦の末尾が0の年に大規模調査、5年に簡易調査)ごとに実施しています。調査の結果は、選挙区の画定、議員定数の基準、地方交付税交付金の算定の根拠となるなど、民主主義の基盤を成す統計を提供しています。

また、今回の国勢調査は、平成23年3月に発生した東日本大震災以降初めての人及び世帯に関する全数調査であり、大規模災害発生時の被害状況把握・影響の推計、その後の復興計画の策定や復興状況を評価する際のデータとしても利用されます。

皆様のご協力をお願い致します。